

IV 良質な個別サービスの実施(特養)

【 評 価 項 目 】			a	b	c	Na
A-1 利用者の尊重						
(1) 利用者の尊重						
1	1	利用者と信頼関係を構築するための取組が積極的に行われている。	○			
2	2	利用者の意向を十分に尊重している。	○			
3	3	利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	○			
4	4	利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	○			
(特に評価が高い点) 職員が接遇マナー研修を受講し、利用者と接する際には、身体に触れる、手を握る、目線を合わせるなど利用者に応じたコミュニケーションの方法を工夫している。利用者の趣味、興味、希望に応じて一日の過ごし方ができるよう配慮されている。 (改善が求められる点) 特になし						
(2) 利用者の権利擁護						
5	1	利用者の権利を擁護する具体的な取組が行われている。		○		
(特に評価が高い点) 虐待防止、権利擁護実践マニュアルがあり、研修も実施されている。身体拘束ゼロに向けて身体拘束委員会で検討し、マニュアルに基づいて対応されている。 (改善が求められる点) 一部の利用者について保護者の依頼により、好ましくない対応が見受けられた。県指導監査室も黙認していることではあるが、現場職員の方も悩んでおられるので改善が必要と考える。						
(3) 家族との連携・交流						
6	1	家族との連携・交流が積極的に行われている。	○			
(特に評価が高い点) 食事の時間に家族が同席するなど、自由に訪問できるようになっている。事業所の行事の案内を行い、家族との交流を積極的に促すような取組がされている。 (改善が求められる点) 特になし						
(4) 生活環境づくり						
7	1	利用者が過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる。	○			
(特に評価が高い点) 私物の居室への持ち込みは基本的には自由になっており、利用者が過ごしやすい環境に取り組んでいる。 (改善が求められる点) 特になし						

【 評 価 項 目 】				a	b	c	Na
(5) 終末期ケア							
8	1	終末期の場所等の選択に配慮がなされている。		○			
(特に評価が高い点) 終末期ケア手順書に沿って医師、家族、生活相談員で話し合いをするようにしている。職員に対して研修も実施している。 (改善が求められる点) 特になし							

A-2 日常生活支援							
(1) 食事							
9	1	サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。		○			
10	2	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。		○			
11	3	喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。		○			
12	4	利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。		○			
(特に評価が高い点) 食事中に管理栄養士がまわって、利用者の声を聞いたり様子を確認している。食事の席も会話が弾むように配慮し、家族が介助に来られても対応できるようにしている。食事時間の幅を2時間持たせ、その日の体調に合わせて食事ができるように配慮している。 (改善が求められる点) 特になし							

(2) 入浴						
13	1	入浴は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
14	2	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。		○		
15	3	浴室・脱衣場等の環境に配慮している。	○			
(特に評価が高い点) 浴槽は、機械個浴、チェア浴、特浴等、いくつかの種類が用意され、入浴ができない場合は別の日に入浴するか清拭により対応している。脱衣場の冷暖房設備は、利用者の身体的状況や気候に応じて調整されている。 (改善が求められる点) 利用者の希望に沿って自由にシャワー浴が出来るようになっていない。						

【 評 価 項 目 】			a	b	c	Na
(3) 排泄						
16	1	排泄介助は利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
17	2	トイレ環境に配慮している。	○			
(特に評価が高い点) 施設サービス計画書により一人ひとりの状況に配慮しており、排泄介助の結果も記録されている。 トイレは車椅子でも利用でき、常時換気することで防臭対策が行われている。照明は自動で点灯・消灯される。 (改善が求められる点) 特になし						
(4) 移乗・移動						
18	1	移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			
(特に評価が高い点) 利用者の状況に応じて介助バーの使用や歩行器、手押し車などの配慮がされている。 (改善が求められる点) 特になし						
(5) 認知症利用者への対応						
19	1	認知症利用者への対応が適切に行われている。	○			
20	2	認知症高齢者が安心・安全に生活できるよう、環境の整備を行っている。	○			
(特に評価が高い点) 認知症ケアについて施設内研修を実施し、やむを得ず身体拘束を行っているケースについては身体拘束委員会で協議し、家族の同意を得るなど必要な手続きが取られている。衝撃吸収マットなどの使用や、異食が無いように片付け、清掃を行い、トイレや居室は一目で分かるように表示が工夫されている。 (改善が求められる点) 特になし						
(6) 整容						
21	1	利用者の身だしなみや清潔への配慮について支援が行われている。	○			
22	2	利用者の個性や好みを尊重し、理容・美容への支援を行っている。	○			
(特に評価が高い点) 離床のたびに整髪等に気を配り、自分で出来る人は自分で、出来ない人には職員が対応している。 衣服等の汚れには速やかに対応されている。利用者や家族からの髪型の希望を聞き、美容師に伝えている。 (改善が求められる点) 特になし						

【 評 価 項 目 】			a	b	c	Na
(8) 睡眠						
23	1	安眠できるように配慮している。	○			
(特に評価が高い点) 寝具は好みの物を持参することも出来る。大声や奇声を発する利用者の居室は一時的に防音の壁にする等、他の利用者にも配慮がされている。 (改善が求められる点) 特になし						

(8) 健康管理						
24	1	日常の健康管理は適切である。	○			
25	2	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○			
26	3	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	○	-		
27	4	利用者の体調変化時に、迅速に対応するための手順が確立している。	○			
28	5	感染症や食中毒の発生予防を行っている。	○			
29	6	褥瘡の発生予防を行っている。	○			
(特に評価が高い点) 服薬管理マニュアルを策定し、介護記録や申し送り表で、看護師と介護職員が情報を共有し、服薬管理は確実にされている。利用者の体調変化に気づいた場合の対応手順や、医療機関との連携体制が確立しており、緊急時には対応できるような体制がとられている。 (改善が求められる点) 特になし						

(9) 外泊、外出						
30	1	外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	○			
(特に評価が高い点) 利用者や家族の希望に添って外出・外泊が行えるように調整をしたり、苑の車で送迎するなどの支援を行っている。 (改善が求められる点) 特になし						

【 評 価 項 目 】				a	b	c	Na
(10) 所持金・預かり金の管理							
31	1	預かり金について、適切な管理体制が作られている。		○			
(特に評価が高い点) 預り金の取扱い規定により、管理責任者や出納責任者が決められており、適切な管理体制が整備されている。 (改善が求められる点) 特になし							
A-3 自立支援							
(1) 機能回復							
32	1	利用者の心身の状況に応じた機能回復の支援が適切に行われている。		○			
(特に評価が高い点) 機能訓練指導員を配置し、機能訓練個人票の計画により、利用者の状況に応じた支援が行われている。 (改善が求められる点) 特になし							
(2) 生きがいづくり							
33	1	利用者の余暇活動や生きがいづくりへの支援が適切に行われている。		○			
(特に評価が高い点) レクリエーションや習字教室、音楽療法などの余暇活動だけでなく、洗濯物たたみの手伝いを利用者が自主的にされるのを職員が側面的に支援しており、利用者が自由に余暇活動を選択したり生きがいづくりへの活動が行えるように配慮されている。 (改善が求められる点) 特になし							
(3) 地域生活への移行							
34	1	利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。		○			
(特に評価が高い点) 地域生活移行支援マニュアルを策定し、地域生活への移行が必要な利用者に対する支援を行えるようにしている。 (改善が求められる点) 特になし							